

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

「京銀輝く未来応援ファンド」

既存投資先(「ものレボ株式会社」)への追加投資について



京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、グループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）と共同で設立した「京銀未来ファンド2号」は、「ものレボ株式会社」へ投資いたしました。同社へはこれまでに2度投資を行っており、本件は追加投資となります。

「ものレボ株式会社」は、独自の生産技術とITを活用し、製造業向けの工場管理ソフトを開発・販売するSaaS※ベンチャー企業で、2020年11月には当行と業務提携契約も締結しております。「京銀未来ファンド2号」では、今般、同社のより一層の成長を支援するため、製品開発および人材採用資金として追加投資を行いました。

京都銀行グループでは、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等に投資を行うことで、持続可能な経済成長の実現に向けて、地域の発展と成長に貢献できるよう取組んでまいります。

※SaaS (Software as a Service) … インターネット経由でアプリケーション機能を提供するサービスの形態

記

1. 投資先概要

企業名	ものレボ株式会社
代表者	代表取締役 細井 雄太
所在地	京都市中京区新町通三条上ル町頭町112 菊三ビル3F
設立	2015年9月1日
事業内容	製造業向けクラウド型工場管理SaaSの開発・販売

2. 投資額

9,947,000円

※これまで、2017年6月に「京銀未来ファンド1号」で13,200,000円、2020年7月に「京銀未来ファンド2号」で20,010,000円投資しており、本件と合わせて、当社に対する投資額は計43,157,000円となります。

3. 投資について

本件投資により、「ものレボ株式会社」は、製造業向けクラウド型工場管理ソフトの開発および人材採用を行う。

4. 京銀未来ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く企業で、独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業・中小企業等
出 資 者	無限責任組合員（GP）：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
当行出資額	19億80百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年（ただし、合意により2年間の延長可能）

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

